

# Economic Indicators

発表日: 2024年10月4日(金)

## 主要経済指標予定(2024年10月7日~10月11日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(10月7日~10月11日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
10月7日 (月)	14:00 8月景気動向指数・速報				
	CI先行指数(前月差)	▲2.4pt	▲2.4pt	▲2.7pt~▲2.0pt	+0.2pt
	CI一致指数(前月差)	▲3.7pt	▲3.7pt	▲3.9pt~▲3.5pt	+3.1pt
	14:00 8月消費活動指数(旅行収支調整済) 実質季節調整済み(前月比)	—	—	—	+0.3%
10月8日 (火)	8:30 8月家計調査(二人以上の世帯) 実質消費支出・全世帯(前年比)	▲3.1%	▲2.7%	▲5.1%~▲1.3%	+0.1%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	▲2.6%	▲1.2%	▲2.9%~+2.3%	▲1.2%
	8:30 8月家計消費状況調査				
	8:30 8月家計消費単身モニター				
	8:30 8月消費動向指数				
	8:30 8月毎月勤労統計 名目賃金(前年比)	—	—	—	+3.4%
	8:50 8月国際収支統計 経常収支(原数値、億円)	+28,979	+29,070	+24,772~+32,891	+31,930
	14:00 9月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI(季節調整値)	49.4pt	—	—	49.0pt
	先行き判断 DI(季節調整値)	50.8pt	—	—	50.3pt
	10月9日 (水)				
10月10日 (木)	8:50 9月企業物価指数 (前月比)	▲0.3%	—	—	▲0.2%
	(前年比)	+2.3%	+2.3%	+1.3%~+2.8%	+2.5%
	10月11日 (金)	8:50 9月マネーストック M2(前年比)	+1.3%	+1.3%	+1.3%~+1.3%
M3(前年比)	+0.8%	+0.8%	+0.7%~+0.9%	+0.9%	
広義流動性(前年比)	+2.9%	+2.9%	+2.8%~+3.0%	+2.9%	

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



**8月景気動向指数 C I 先行指数／C I 一致指数 当社予想：前月差 ▲2.4pt／▲3.7pt 中央値：同▲2.4pt／▲3.7pt**

C I 一致指数は前月差▲3.7ポイントと大幅な低下になると予想する。台風襲来に伴って自動車を中心として工場稼働が一時的に停止されたことが大きく影響するだろう。C I 一致指数は振れを伴いながら一進一退の動きが続いている。なお、C I 一致指数の基調判断は、前月に続いて「下げ止まり」が予想される。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

**8月実質消費支出（二人以上の世帯、全世帯） 当社予想：前年比▲3.1% 中央値：同▲2.7%**

実質消費支出は前年比▲3.1%と減少が予想される。地震への警戒や大型台風襲来から食料品の買いだめの動きが生じたことが押し上げ要因になった一方、外出は手控えられた可能性が高く、サービス消費は低調に推移したとみられる。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

**9月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+2.3% 中央値：同+2.3%**

9月の国内企業物価を前年比+2.3%、前月比▲0.3%と予想する。前年比では、政府の補助金政策（酷暑乗り切り支援）が9月から開始したことで、電気・ガスの伸びが押し下げられることに加えて、価格転嫁の一服や円安調整による輸入物価の押し下げによって企業物価は鈍化する見込み。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。